

## 広島県鉄構工業会

### 輸送・事業承継テーマ

#### 講習会・セミナー開く

【広島】広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳・スズノトス社長）

は12日、広島市内のホテルニューヒロデンで

「鉄骨製品のトラック輸送等に関する講習会」と「事業承継セミナー」を開催、約50人が参加した。背景には

トラックドライバー不足による鉄骨製品の輸送難とフェアリーター

の事業承継問題がある。冒頭、山本理事長は

「輸送トラックの問題は工期に影響するの

で、フェアも真剣に対策を考えなければなら

ない。事業承継におけるM&Aは大きな会社

だけの話ではなく、われわれにも身近な問題

である。今日の講習会で得たことを、全国に

発信していこう」とあいさつ。

トラック輸送に関する講習会では国土交通省の担当者が「車両の大きさ及び重量の制限について」と「トラック運送事業の現況と環

あいさつする山本理事長



境改善の取り組みについて」の説明を行った。過積載などの法令違反は荷主であるフェアリーターにも責任が及ぶ場合がある。輸送業界は運転手の就業環境や待遇面、人手不足という問題を抱えている。解決に向けて荷主側の協力を呼びかけた。

事業承継セミナーでは広島県事業引継ぎ支援センター・平野勝正氏が「中小企業における事業引継ぎの現況等」について、動画資料を活用し解説。上八丁堀法律事務所・久保豊年弁護士と中山昌実税理士事務所・中山昌実税理士は「様々な事業承継の手法とその特徴」をテーマに、譲渡時の工場や株式など資産の評価方法など具体的な事例を挙げて話した。鉄骨フェアは近年、後継者不足のため息子でも事業を続けられないことがある。かつては親族に事業を譲るのが一般的であったが、M&Aなどの手法で第三者に譲渡するケースも出てきている。